

埼玉県行田市「古代蓮の里」見学会

大崎昌野 藤沢勝一郎（東本町四丁目出身）

今回の勉強会は、首都圏にある埼玉県行田市「古代蓮の里」公園。

二十一年一月の理事会の時、良い勉強会先があつたら紹介してほしいと建入理事に話したところ、上越市の「蓮」との関係でここを紹介されたのです。

勉強会は、行田市の蓮祭りに合わせて七月二十日（日）。十時にJR行田駅に集まり、バスで「古代蓮の里」公園へ。参加者は七人、東京都外だと少ないのかなあ。

祭りに合わせたシャトルバスが満員だったため、路線バスに乗りしました。公園には、地元や近隣からマイカーで来た見学者でいっぱい。それに同市と姉妹都市である福島県白河市、三重県桑名市からの出店もあつてなかなかの賑わいです。

この公園には市の天然記念物である行

あり、楽しみながら自然を学習することが出来るようになっていきます。

地上五〇mの展望室に上がれば、三六〇度の大パノラマ。遠く筑波山や榛名山・赤城山など関東平野を取り囲む山並みを一望できるとのことだったのです。この日は霞んでいて見えませんでした。目を下に落とすと、公園が一望、近くの田んぼには縦四〇m、横五〇mの行田蓮をかたどった「田んぼアート」が見えました。なかなかの出来です。

朝は少々曇もあつたのですが、十時頃からはカンカンの日照り、暑さで皆バテ気味でした。

行田市が発行しているガイドブックに「行田に来たら、一度はフライを食べなきゃね」とあつた。

野次馬根性で、会場内で売店を捜す。二種類ある。

一つはお好み焼き風の「フライ」。この「フライ」は、小麦粉をやわらかく水で溶き、鉄板上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みでソースまたは醤油だれをつけて食べるもの。クレープのようにふわりとした舌触りのお好み焼きのようなもの。

もう一つはジャガイモとおからのコロッケ風「ゼリーフライ」。「フライ」と名前は似ているが、まったく違う食べ

物。お菓子のゼリーとも違う。衣の着いていないコロッケといった風情のもの。名前の由来は、小判形であることから「銭フライ」だったらしいのですが、「銭」がなまって「ゼリーフライ」になったとか。

お味の方は、両方とも「まあまあ」といったところでしょうか。



会場全景



行田蓮をかたどった田んぼアート



左が藤沢さん



暑かった古代蓮見学



古代蓮